PRESS RELEASE

2026年11月18日
梅乃宿酒造株式会社

【梅乃宿酒造】伝統的な酒造業界の労働慣行の刷新が評価され、奈良労働局「ベストプラクティス企業」に選定

奈良労働局長による企業訪問および現場視察を実施

梅乃宿酒造株式会社（本社：奈良県葛城市、代表取締役社長：吉田佳代）は、長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる企業として、奈良労働局より令和8年度「ベストプラクティス企業」に選定されました。これに伴い、令和8年11月17日（火）、奈良労働局による企業訪問および現場視察が当社本社にて実施されましたことをご報告いたします。
＜梅乃宿酒造公式HP　https://www.umenoyado.com/＞



【選定および視察の背景】
伝統産業における「働き方改革」への挑戦

酒造業界では、長年にわたり「醸造期の泊まり込み」「季節雇用」「一部の職人技への過度な依存」といった労働環境が常態化していました。
当社では、こうした従来の慣行を見直し、従業員一人ひとりが心身ともに健康で長く働き続けられる職場環境の構築を目指してきました。労働時間の削減や技術・ノウハウの標準化、設備投資による業務効率化などを推進することで、「持続可能で働きやすい環境づくり」と「高品質な酒造り」の両立を実現しております。
今回の「ベストプラクティス企業」への選定は、こうした伝統産業の枠にとらわれない先進的な取り組みが高く評価されたものです。

【当日の視察の様子】

令和8年11月17日（火）に行われた視察では、実際の酒造りの現場や導入された設備をご視察いただいたほか、働き方改革に取り組むに至った背景や具体的な施策、それによってもたらされた現場の変化などについて意見交換を行いました。


奈良労働局 局長の石崎様との意見交換


蔵見学通路より、酒造りにおける取組をご紹介


パレタイザー等の設備の活用についてご紹介

【コメント(梅乃宿酒造株式会社 代表取締役社長 吉田佳代)】

会社は「選ばれる立場」です。選ばれる企業になるためには、労働環境を整えることが非常に重要だと捉えています。弊社は奈良の郊外に蔵を構えており、今後も人材確保が大きな課題です。現在の取り組みは決して完成形ではなく、これからもより良い環境を模索しながら改善を進めていきたいと考えています。
酒造業界の伝統的な労働慣行を刷新するにあたっては、社員から「本当に大丈夫だろうか」と不安の声もあがりました。しかし、会社として粘り強く取り組みを推進したことで社員の不安も払拭され、現在の労働環境の構築につながっています。これまでの「当たり前」にとらわれず、次の「当たり前」をつくっていく。常に進化し続けられる会社でありたいと思います。

1893年創業の地酒蔵。近年は日本酒だけでなくリキュール等、若い世代にも人気の新しい商品も開発・製造しています。酒銘の「梅乃宿」は旧蔵の庭にある樹齢約300年の梅の古木に鶯が飛来し、その風雅なさえずりを楽しませてくれることにちなんでいます。近年では日本酒リキュール「あらごしシリーズ」が大ヒットし、日本酒だけでなく幅広い層に親しまれています。

商号：梅乃宿酒造株式会社　代表取締役社長　吉田佳代
所在地(本社)：〒639-2135　奈良県葛城市寺口27-1
設立：1893年（明治26年）
資本金：3,000万円
事業内容：日本酒、リキュール、各種酒類の製造・販売、商品開発
URL：https://umenoyado.com/

＜本件に関するお問い合わせ先＞
梅乃宿酒造株式会社 マーケティング部 石塚好　E-mail ishizuka@umenoyado.com
本社 〒639-2135奈良県葛城市寺口27-1　Tel 0745-69-2121